

平成23年2月14日

「平成22年度三重大学技術発表会（第19回）」参加報告

技術室 実習工場班 永山 洋一

「平成22年度三重大学技術報告会」に参加しましたので報告します。

1. 開催日時

2011年2月10日（木）13:00～17:00

2. 開催場所

三重大学 VBL棟 2階セミナー室（参加人員約50名）

3. 発表内容（発表件数：12件）

- | | |
|------------------------------|---------------|
| ① トマト養液礫耕栽培への製鋼スラグ礫の導入 | （三重大 農場系技術職員） |
| ② 富山大学人間発達科学部付属農場における公開講座の紹介 | （富山大 農学系技術職員） |
| ③ 超音波内視鏡穿刺吸引細胞診断の実際－細胞検査士の役割 | （三重大 医学系技術職員） |
| ④ 熊野川の河床材料の粒度分析から見えてきたこと | （三重大 生物系技術職員） |
| ⑤ 特定外来生物オオキンケイギクの駆除報告 | （三重大 技術職員） |
| ⑥ 静岡大学工学部技術部の今 | （静岡大 工学部技術長） |
| ⑦ 産学官連携センターにおける知的財産活用支援業務の紹介 | （名工大 技術職員） |
| ⑧ 「青少年のための科学の祭典2010」の参加報告 | （三重大 技術職員） |
| ⑨ 二液分離型光化学ダイオードの開発と人工光合成への応用 | （奈良高専 技術職員） |
| ⑩ 第2回夏休みものづくり体験セミナー実施報告 | （三重大 技術職員） |
| ⑪ 森精機NCスクールミーリングコース参加報告 | （三重大 技術職員） |
| ⑫ 工学部ホームページのリニューアルとCMS | （三重大 技術職員） |

4. 所感

参加の目的は、大学、高専の技術職員の発表会とはどのようなものかを知ることと、自分が発表者となった場合にはどのようにすればよいのか知る為でした。

今回の発表を纏めると

- ・ 発表のジャンルは、工学系5件、農学系2件、医療系1件、その他4件。
- ・ 内容は難しい研究ものから、自分の職場業務内容やホームページ、公開講座や環境保護活動の紹介もの、さらにセミナーやメーカーリングに参加報告等で制約なし。
- ・ 発表形式は論文発表的なものから、型にはまらない写真を時系列に並べそれを言葉で繋ぎ説明するもの。（パワーポイントを使い、視覚に訴えて説明するのが主流）

発表は、内容より参加することを重要視されているようで発表会の継続を大切にしていると感じた。大学は技術職員の数が高専の3～4倍（約50名）いるので、発表会を定例化して横の情報交換を取り、互いの活動を知ることが有意義であると思う。

このような発表会が19回も続くのであれば、高専の技術職員も、自分の業務をPRするためや自己研鑽及び相互理解のためにも年1回程の技術発表会を、内容形式にこだわらず継続的に持つのもよいのではないかと感じました。

発表会場

・会場内



・工学部 VBL棟

